

建屋カバー解体に向けた飛散防止剤散布と調査の状況について
(平成26年11月22日実績)

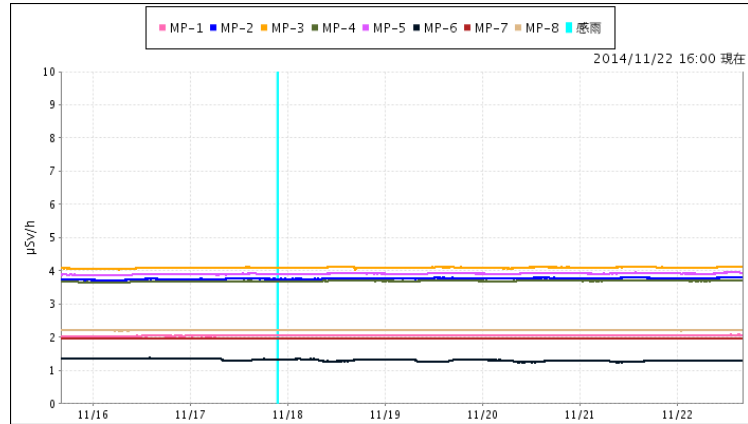
平成26年11月22日
東京電力株式会社

1. 本日(11月22日)の作業項目

- 原子炉建屋既存鉄骨調査(南3、北3エリア)

2. 敷地周辺および敷地内への影響

- (1) 敷地境界のモニタリングポスト : ● (有意な変動: $+2 \mu\text{Sv/h}$ 以上の変動)
・ 有意な変動はありませんでした。



- (2-1) 作業現場のダストモニタ[1号機] ● (警報設定値: $5 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$)
・ 警報の発報はありませんでした。

- (2-2) 3号機原子炉建屋のダストモニタ ● (警報設定値: $5 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$)
・ 警報の発報はありませんでした。

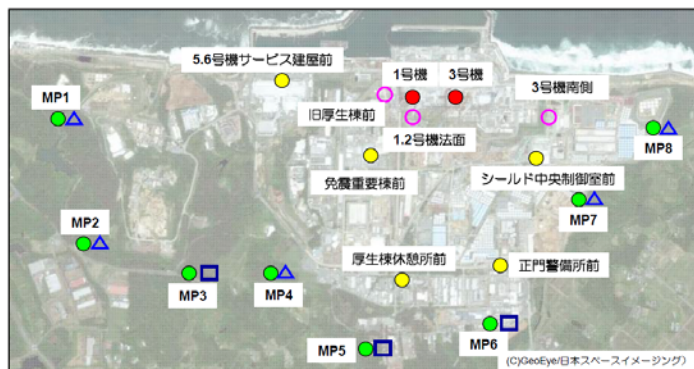
- (3) 建屋周辺のダストモニタ : ○ (警報設定値: $1 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$)
・ 警報の発報はありませんでした。

- (4) 構内のダストモニタ : ● (警報設定値: $1 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$)
・ 警報の発報はありませんでした。

- (5) 敷地境界付近のダストモニタ : ▲ (警報設定値: $1 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$)
・ 警報の発報はありませんでした。

- (6) 敷地境界付近のダストサンブラ : □
・ 有意な変動はありませんでした。

(参考) モニタリングポストとダストモニタの設置地点



※モニタリングポストのリアルタイムデータにつきましては、当社ホームページ「福島第一原子力発電所構内でのモニタリングポスト計測状況」
<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/index-j.html> からご覧いただけます。

(補足)

- 作業現場のダストモニタの警報設定値は、敷地境界のモニタリングポスト周辺に設置したダストモニタの警報設定値($1.0 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$)を元に、放射性物質の拡散を考慮して保守的に $5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ と設定した。
- 建屋周辺および構内のダストモニタの警報設定値($1 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$)は、当社が規定するマスク着用基準(線量告示の第4欄「放射線業務従事者の呼吸する空気中の濃度限度(Cs-134代表)」の10分の1相当)の2分の1を設定。
- 敷地境界付近のダストサンブラについては、前日の午前8時30分頃から当日の午前8時30分頃までの1日間集塵して計測したものを。

3. 本日（11月22日）の作業状況

(1) 作業時間
6時33分～12時13分

(2) 作業前の風向／風速
西よりの風 / 1.9[m/s]

(3) 作業ステップ

作業ステップ

1. 屋根パネル解体

2. 壁パネル解体

3. 梁柱取外し

4. 梁柱改造

5. 梁柱再取付け

<飛散抑制対策> 飛散防止剤散布・建屋最上階流入風量低減・ガレキとガストの吸引・散水

4. 明後日（11月24日）の作業予定項目

- ・ 原子炉建屋既存鉄骨調査（南3、北3エリア）
（作業予定時間：6時00分～15時00分）

5. その他

- ・ 特になし

以 上